

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 火事からくらしを守る（12時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火事や事故などの防止に努めていることを理解する。	火事からくらしを守るための施設・設備などの配備、緊急時への備えや対応などに着目して、関係諸機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の動きを考え、表現する。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「わたしたちのまち・みんなのまち」において、町の様子を見て回り、建物や交通、土地利用の様子などを調べ、地図に書き込みながら、地域の特徴をまとめた。

働かせる見方・考え方：火災時における人々の働きや防火に関わる活動に着目し、消防に関わる人々の役割やつながりを考えること。

段階	□学習問題（時間）	留意点
課題把握	1 今、火事が起きたらどのように消し止めるのだろうか。(1)	<p><b>気付きや疑問から問いを設定する場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にあった学校火災を取り上げる。</li> </ul>
	単元を貫く問い：火事から地域の人を守るために、だれが、どのようなことをしているのだろうか。	
課題追究	2 火を消すために、だれがどんな働きをしているのか予想して、調べたいことや確かめてみたいことを考えよう。(1)	<p><b>予想から解決の見通しをもつ場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の見学、身の回りの消防施設の調査、消防団の活動に焦点化していく。</li> </ul>
	3 消防署の人の仕事や役割はなんだろう。(3)	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の見学</li> <li>・通信指令室の役割</li> <li>・警察、病院、電力会社などとの連携</li> </ul>
	4 火事の時に動くのは消防署だけなのかな。(1)	
	5 地域にある火事からくらしを守るための場所や物を探そう。(2)	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災設備を探し、地図にまとめる。</li> </ul>
	6 消防団の人たちはどんな仕事をしているのだろうか。(2)	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の方への聞き取り調査</li> <li>・「地域を守る」という思いを取り上げる。</li> </ul>
7 Wさんは、どんな気持ちで消防団活動をしているのだろうか。(1)		
まとめ	<p>8 火事からみんなのくらしを守ってくれている消防署、消防団の人に手紙を書こう。(1)</p> <p>【ねらいを達成した子どもの姿】 消防署では、火事の時には、すぐに現場に駆け付け、消火するための体制を整えている。また、消防団の人々も、消防署と連携しながら、火事を防ぐなど、地域の人々を火事から守るために活動している。私たちは多くの人に支えられながら、生活しているんだ。</p>	<p><b>学習を振り返って表現する場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を貫く学習問題に対する答えをまとめる</li> <li>・自分たちが安心して生活できるために力を尽くしてくれている人の姿を思い浮かべ、感謝の思いや「自分たちにできること」などを書く。</li> </ul>

次単元へのつながり：地域の生産や販売に携わる職業についている人の仕事や工夫について調べる。